

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道4号 伊達拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県伊達市広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野			延長	9.1 km
事業概要					
<p>一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約836.4kmの主要な幹線道路である。伊達拡幅は、福島県伊達市広前から福島県伊達郡国見町大字石母田字上野に至る延長9.1kmの4車線道路である。</p>					
S56年度事業化		S56年度都市計画決定		S57年度用地着手	
全体事業費	約215億円	事業進捗率	約96%	供用済延長	7.5km
		(令和2年3月末時点)			
計画交通量 21,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/事業全体		総便益 (残事業)/事業全体	
	1.2 (残事業)	25億円/447億円		47億円/544億円	
	1.9	事業費：19億円/410億円 維持管理費：6.5億円/36億円		走行時間短縮便益：42億円/501億円 走行経費減少便益：4.2億円/27億円 交通事故減少便益：1.5億円/16億円	
基準年 令和2年					
感度分析の結果					
【全体事業】 交通量変動：B/C=1.1~1.3(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.2~1.2(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.2~1.3(事業期間 ±1年)					
【残事業】 B/C=1.8~2.0(交通量 ±10%) B/C=1.7~2.0(事業費 ±10%) B/C=1.8~1.9(事業期間 ±1年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減 (渋滞損失時間：28.9万人・時間/年、渋滞損失削減率：約7割削減)					
②国土・地域ネットワークの構築 ・日常生活圏の中心都市へのアクセス向上 (国見町～福島市 現況32分⇒将来30分)					
③災害への備え ・福島県防災会議により福島県地域防災計画における緊急輸送路第一次確保路線に位置づけ 他13項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
○福島県知事の意見 国の対応方針(原案)案については、異議ありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めてください。					
○以下の団体から、伊達拡幅の整備促進について要望あり ・福島県知事、福島県町村会、国見町長、福島県道路整備促進協議会					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針(原案)は妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・昭和56年度新規事業化、用地進捗率約95%、事業進捗率約96%(令和2年3月末時点) ・平成7年度に延長5.5kmの事業延伸、現在まで当初事業化区間を含めて延長7.5kmの4車線化が図られている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業進捗に係る問題はない。 ・令和5年度の供用を目指して事業を実施中。					
施設の構造や工法の変更等					
・事業調整による残土運搬先の見直しを行うことでコスト削減を図っている。					

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道4号における交通混雑の緩和、交通安全の確保等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。